

令和 5 年度事業報告書

一般社団法人地域医療機能推進学会

令和5年度事業報告

令和5年度において、一般社団法人地域医療機能推進学会（以下、学会という。）は、設立の目的である独立行政法人地域医療機能推進機構等（以下、JCHOという。）に勤務する学会会員の資質の向上、地域医療に関する調査研究及び教育の促進を図り、もって地域医療の向上及び医学・医療の発展に寄与するための各種事業を実施した。

また、学会会員の特典として行っている福利厚生制度の充実を図るため、学会会員への利用促進を図るとともに、新たな福利厚生制度の導入を検討し実施した。

なお、令和6年3月31日時点の会員数は17,630人であった。

令和5年度に学会が実施した各種事業は、以下のとおりである。

1. 社員総会、理事会を下記のとおり開催した。

（1）社員総会

- ・令和5年6月30日（金）、第9期計算書類の承認の件、令和5年度事業計画案承認の件、令和5年度予算案承認の件、定款の一部変更案承認の件について書面決議が行われ承認された。

（2）理事会

- ・令和5年6月6日（火）、第9期計算書類等承認の件、令和5年度事業計画案承認の件、令和5年度予算案承認の件、定款の一部変更案承認の件、「一般社団法人地域医療機能推進学会職員就業規則」の一部改正案承認の件、会費の変更案承認の件、JCHO地域医療総合医学会について、また一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第58条第1項による第8回定時社員総会書面決議提案の件について決議が行われ承認された。
- ・令和5年7月14日（金）、第10回JCHO地域医療総合医学会開催地区変更の件、第10回JCHO地域医療総合医学会会期及び会場選定の件について決議が行われ承認された。
- ・令和5年12月5日（火）、ソーシャルワーカー部会新規設置の件、「一般社団法人地域医療機能推進学会理事会規則」一部改正の件について決議が行われ承認された。

2. JCHO地域医療総合医学会の開催

学会では、令和5年12月8日（金）、9日（土）の両日、「ポストコロナの地域医療戦略」をメインテーマに『第8回JCHO地域医療総合医学会』（会長：住田安弘

JCHO四日市羽津医療センター院長）を開催した。

今回は、初めて東海北陸地区において開催することとなり、三重県津市の三重県総合文化センターを会場とした。なお、JCHO病院等からの参加者は1,813人であった。

プログラム構成は、会長講演に始まり、理事長講演、継続テーマシンポジウム24題、シンポジウム9題、会長企画としてディベート1題、Meet the Professor 3題等を実施した。また、演出家の宮本亜門氏を招いて特別講演を行った。

なお、総演題数はJCHO職員が応募された一般演題478題を含め、537題であった。

また、令和6年度に宮城県において開催する『第9回JCHO地域医療総合医学会』（会長：村上栄一 JCHO仙台病院院長）の各種準備を進めた。なお、開催方針や企画構成等を協議するために下記のとおりプログラム委員会を開催した。

- ・第1回プログラム委員会：令和6年1月30日（火）
- ・第2回プログラム委員会：令和6年3月12日（火）

さらに、令和7年度に開催を予定する『第10回JCHO地域医療総合医学会』についても神奈川県横浜市で開催することが理事会で承認され、会場確保等の開催準備を進めた。

3. 地域医療機能推進学会セミナーの開催

学会では、令和5年度に下記の『地域医療機能推進学会セミナー』を開催した。開催にあたっては学会ホームページに開催案内を掲示し、JCHO職員のみならず広く一般の方々にも参加を募った。

- ・『第2回栄養セミナー（第25回地域医療機能推進学会セミナー）』：令和5年10月17日（火）、病院等に勤務する管理栄養士・栄養士を対象として「認知症患者の食事管理」をテーマに、Web会議ツールを使用したLive配信により開催した。参加者は148人であった。
- ・『第5回看護セミナー（第26回地域医療機能推進学会セミナー）』：令和6年1月16日（火）、病院等に勤務する看護師を対象として「看護職員と看護補助者との業務分担・協働推進」をテーマに、Web会議ツールを使用したLive配信により開催した。参加者は619人であった。
- ・『第3回臨床検査セミナー（第27回地域医療機能推進学会セミナー）』：令和6年1月26日（金）、病院等に勤務する臨床検査技師を対象として「臨床検査技師に向けての「管理・マネジメント」」をテーマに、Web会議ツールを使用したLive配信により開催した。参加者は99人であった。

- ・『第3回放射線セミナー（第28回地域医療機能推進学会セミナー）』：令和6年2月16日（金）、病院等に勤務する診療放射線技師を対象として「STAT画像一道影の補助の取り組みと実際（CT・MR・消化管）」をテーマに、Web会議ツールを使用したLive配信により開催した。参加者は305人であった。
- ・『第2回リハビリセミナー（第29回地域医療機能推進学会セミナー）』：令和6年3月1日（金）、病院に勤務するリハビリ職員、介護老人保健施設に勤務する職員を対象として「超強化型介護老人保健施設の運営」をテーマに、Web会議ツールを使用したLive配信により開催した。参加者は182人であった。
- ・「第8回事務セミナー（第30回学会セミナー）」：令和6年3月8日（金）、病院等に勤務する事務職員（事務部長・医事課長等）及び看護部門担当者を対象として「施設基準の適時調査における留意点等について」をテーマに、Web会議ツールを使用したLive配信により開催した。参加者は330人であった。

4. 福利厚生制度の実施

学会では会員特典としての各種福利厚生制度を実施しているが、今年度においても新たな福利厚生制度を数件追加し、一層の充実を図ってきた。

また、JCHOの新規採用職員全員に入会案内とともに、各種福利厚生制度の紹介パンフレットを配布し、学会への加入促進を図るとともに学会が実施する各種事業について情報提供を行った。

5. 一般社団法人地域医療機能推進学会理事会規則第9条に定める部会の運営

JCHO地域医療総合医学会事業、研修事業及びその他の事業の企画立案・実施等の各種事業が円滑に行われることを目的として設置した、院長部会、事務部会、看護部会、薬剤部会、放射線部会、臨床検査部会、リハビリ部会、栄養部会、臨床工学部会の運営支援等を行うとともに、新たにソーシャルワーカー部会を新設し10部会とした。

各部会においては、第8回JCHO地域医療総合医学会の会期に併せての臨時部会総会や、令和6年2月から3月にかけて書面及びWeb会議ツールを使用した部会総会を開催した。

6. 会員への情報発信等

学会の広報誌『一般社団法人地域医療機能推進学会だよりNIJI』を4回（春号 vol.07：令和5年4月、初夏号 vol.08：令和5年5月、秋号 vol.09：令和5年9月、春号 vol.10：令和6年3月）発行した。掲載内容は、第8回JCHO地域医療総合医

学会及び第9回JCHO地域医療総合医学会の開催情報、学会セミナーの実施報告、役員改選に伴う新任部会役員の紹介、更に学会が実施する各種事業の案内、会員特典（福利厚生制度）の紹介やキャンペーン情報、部会への情報提供等であった。

また、学会のWebサイトについては近年掲載事項が増すとともにアクセス件数も増加してきたため、セキュリティ対策の強化に重点を置いたリニューアルが喫緊の課題となっており、関係者と改修に向けた協議を進めるとともに機器の整備を行った。